# 大気変動がインド洋ダイポールモード現象に及ぼす影響
# Impact of atmospheric variability on Indian Ocean Dipole mode

*馬場 雄也[1]
*Yuya Baba[1]

1. 海洋研究開発機構
1. JAMSTEC Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology

マッデン・ジュリアン振動など熱帯大気内部変動がインド洋ダイポールモード現象（IOD）に及ぼす影響を調べた既往研究は存在するが、数が少なく未知の部分が多い。本研究では海洋大循環モデルと異なる大気フォーシングデータを用いて、大気変動がIODの形成に及ぼす影響を調べた。大気の季節内振動に着目するため、日単位のフォーシングに加えて（１）気候値フォーシング、（２）気候値に年変動を加えたフォーシング、（３）気候値に季節変動を加えたフォーシング、（４）気候値に月変動値を加えたフォーシング、（５）９０日以上のローパスフィルターを用いたフォーシングと、海洋大循環モデルを用いて、1980-2009年の間のIODの再現・感度実験を行った。ダイポールモード・インデックス（DMI）を調べたところ、（１）は全くIODを再現せず、（２）（３）はピーク値が減衰したIODを再現し、（４）（５）は日単位のフォーシングと同程度のDMIを再現した。この発表では異なるフォーシングデータを用いて現れた、IODに関連する海洋側の変動、フォーシングに含まれる大気側の変動の相関を調べ、明らかにしたメカニズムについて報告する。

キーワード：インド洋ダイポールモード現象、大気内部変動
Keywords: Indian Ocean Dipole mode, atmospheric internal variability

©2019. Japan Geoscience Union. All Right Reserved. 